

全日音研全国大会の研究実践に継続性・連続性を位置づける取り組み ～令和元年東京大会時の全国理事会で承認・実施～

① 本取り組みの趣旨

現行学習指導要領〈音楽〉で、小中高の音楽科指導の目標や指導内容で、一層明確な系統性が示されたことを受け、音楽科には校種を越えて一層の授業改善が求められている。

全日音研全国大会では、大会ごとの「成果と課題」を、続く全国大会にも「継続性・連続性」を位置づけた研究実践として引き継ぎ、全国の音楽科担当者の授業改善に資する研究大会とすることが重要と考えた。

② 継続・連続の内容

- ・ 各大会の「大会主題」は大会独自設定とし、研究構想に位置づける〈研究の視点〉3項目を継続設定とする。
- ・ 継続する〈研究の視点〉は学習指導要領の改訂趣旨等を具現化する内容で、継続設定に適した一定の《幅》を持った内容とする。

③ 継続期間と研究実践での運用

- ・ 〈研究の視点〉3項目は、原則5年間を目途に継続設定し、学習指導要領の改訂等により途中変更もある。 ※〈研究の視点〉3項目に関する決定は本部全国理事会で行う
- ・ 大会誌掲載の研究構想等に、前大会から引き継いだ〈継続研究3視点〉を設定していただき、授業研究や学習指導案に、大会ごとの実態に即して柔軟に位置づける。
- ・ 継続する〈研究の視点:3項目〉は、校種ごとの研究計画、開催地の課題や発達段階により、焦点化・簡略化・文言修正など柔軟な扱いで設定できることとする。

- ◎ この取り組みについての詳細は、全日音研本部ホームページの「全国大会の継続性・連続性」をご覧ください。

令和6年度全国大会旭川・上川大会からの〈継続研究の視点3項目〉 【令和4年度全国理事会(山口)で決定】

- ① 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 《現行を継続》
* 次期学習指導要領改訂の基本方針等により、途中改正も考えられる。
- ② 生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識や、
音楽文化についての理解を深める学習の充実
《現行に追加・修正》
- ③ 授業改善のための指導と評価の一体化 《現行に追加・修正》

☆ この研究の視点3項目は、令和10年東北音研での全国大会まで継続します。

本件に関するお問い合わせ

全日本音楽教育研究会本部事務局
事務局長 小松 康裕

電話 03-3991-7462

メール zennichion@jsme.net